

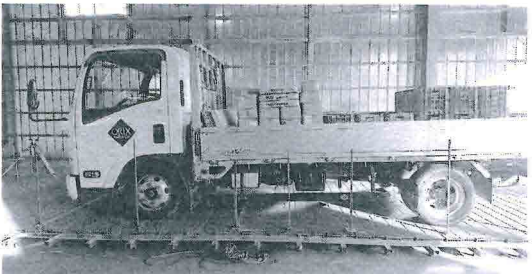
# 5トの車両乗り入れも可能に

## キャンプ場等利用増加に期待

ケーワンシステム

北海道を中心に二重床の供給、施工を行い、万協フロアーの特約店でもあるケーワンシステム(札幌市、原田慶一社長)は、K1デッキシステムの性能を文教施設向けに適用したウッドデッキシステム「文教Playタイプ」に加え、車両乗り入れの需要に対応する「文教Playタイプストロング仕様」ストロング5tを開発し、販売を開始した。

文教Playタイプは、使用回数が多く、耐久性が求められるデッキの分野に適した安全性と高性能を兼ね備えた製品で、多くの文教施設で採用されている。それらの施設は救急車などの緊急車両が乗り入れることが多い。そのため、デッキ部分には車両の荷重に対応できるシステムを提案している。同社では今年春から、万協(東京都、清



試験風景。荷物を考慮した試験も行っている

ストロング仕様は支持脚に万協フロアーパイルボルトを採用し、文教Playタイプを強化。高い圧縮強度が試験で証明されている。床にも工夫を施し、適度な柔らかさを保ちながら面剛性を高めている。

また、車両乗り入れ試験は普通車両、ワゴン車、2トトラックなどで行い、車両荷重で総積載荷重量の5tまで耐える性能を証明。この試験内容を踏まえ、実用化に向け販売を開始した。

原田社長は「文教Playタイプの利用が広がるなかで性能が評価されている。今回の開発により、救急車などの緊急車両の乗り入れも可能となった。グランピングなど新しいキャンプの形が流行するなかで、車を乗り入れたキャンプも増えており、この需要に向けてPRしていきたい」と語る。

基となる文教Playタイプは、ZAM鋼製床下地と人工木で形成するウッドデッキに、デッキ材メーカーと協力し、性能の高いデッキシステムの提供も検討していく。